



正しき政治の実現 幸福実現党

2014年4月 政策パンフレット【宗教立国編】

幸福実現党の目指すもの

この国の政治に一本、精神的^{しゅちゆう}主柱を立てたい。

これが私のかねてからの願いである。

精神的^{しゅちゆう}主柱がなければ、国家は漂流し、
無^む告^{こく}の民は、不幸のどん底へと突き落とされる。

この国の国民の未来を照らす光になりたい。

暗黒の夜に、不安におののいている世界の人々への、
灯台の光になりたい。

国を豊かにし、邪悪なるものに負けない、
不滅の正義をうち立てたい。

人々を真なる幸福の実現へと導いていきたい。

この国に生まれ、この時代に生まれてよかったと、

人々が心の底から喜べるような世界を創りたい。

ユートピア創りの戦いは、まだ始まったばかりである。

しかし、この戦いに終わりはない。

果てしない未来へ、はるかなる無限遠点を目指して、
私たちの戦いは続いていくだろう。

1956年、徳島県生まれ。東京大学法学部卒業後、大手総合商社に入社し、ニューヨーク本社に勤務のかたわら、ニューヨーク市立大学大学院で国際金融論を学ぶ。81年、大悟し、人類救済の大いなる使命を持つ「エル・カンターレ」であることを自覚する。86年、「幸福の科学」を設立。現在、全国および海外に数多くの精舎を建立し、精力的に活動を展開している。著作は27言語以上に翻訳され、発刊点数は全世界で1500書を超える。2009年、「幸福実現党」を創立し、現在、党総裁。

幸福実現党創立者 兼 総裁

大川隆法

おおかわ りゅうほう



人生に輝きを 日本に空前の繁栄を

日本経済に深刻なダメージをもたらす消費増税の実施、中国の軍事的台頭や北朝鮮の核・ミサイル問題、さらには歴史認識をめぐる対日攻勢の強まりなど、日本は内外ともに厳しい局面を迎えています。ビジョンも哲学も不在の政治では、この難局を打開できません。

2009年5月に立党した幸福実現党は、宗教法人幸福の科学が説くユートピア思想を政治の世界で展開し、この国に精神的支柱を打ち立て、多くの人々に「真なる幸福」をもたらすための活動に取り組んでいます。その幸福の内容は、「この世とあの世を貫く幸福」です。すなわち、この世で幸福感に満ちた生き方をするだけでなく、死後、あの世でも幸福な生活が続くような生き方を提唱しています。

人間の本质は、神仏によって創られた霊的存在であり、魂です。この世に生まれ、さまざまな経験を通じてつかんだ学びを持って、あの世の世界に還る——。その繰り返しのなかで、私たちは魂の向上を目指しているのです。

幸福実現党はこうした「霊的人生観」に基づき、この地上をよりよい魂修行の場、ユートピアとするための政治活動および政策立案を行っています。

政治の使命は、「この国に生まれてよかった」と思う人を数多くつくることにあります。私たちは、日本人に神仏の子としての自覚を促

し、この国に精神性の高みをもたらし、国家の気概をよみがえらせます。国民一人ひとりの個性や才能を開花させ、国力を最大化します。

人生に輝きを、日本に空前の繁栄を——。幸福実現党は、方途なき世界にあって、新たなモデル国家・日本としてのあり方を提示し、この国を世界の平和と繁栄に貢献するリーダー国家へと導きます。

本冊子を通じて、幸福実現党の掲げる理想にご賛同いただけますと幸いです。

幸福実現党 党首

釈 量子

しゃく りょうこ

1969年、東京都生まれ。國學院大學文学部史学科卒業。大手家庭紙メーカー勤務を経て、1994年、宗教法人幸福の科学に入局。常務理事などを歴任。幸福実現党に入党後、女性局長などを経て、2013年7月より現職。



幸福実現党の政策

1
外交・防衛

軍事的に膨張する中国、核ミサイル保有を急ぐ北朝鮮など、日本を取り巻く安全保障環境は厳しさを増しています。今こそわが国は、「自分の国は自分で守る」という主権国家としての大原則に立ち返らなくてはなりません。



他国の侵略から 国民を守り抜く

宗教政党が国防強化を訴える理由

- 平和を愛するはずの宗教政党が、なぜ国防強化を訴えるのか——。それは、人間の「魂修行の場」としてつくられたこの世界の平和を守り、他国の侵略行為などで国民を不幸に陥れないためです。「悪を押しとどめ、善を推し進める」ことは、宗教的にも正義にかないます。
- 米国の退潮に伴い世界が混沌とするなか、国際社会の平和と繁栄のために、日本は「一国平和主義」を捨て去り、リーダー国家としての使命を果たすべきです。

まずは
ココから！

外交力と防衛力を強化

- ・ 集団的自衛権の行使容認で、日米同盟を強化。
- ・ 従軍慰安婦問題は事実無根。「河野談話」撤回とともに、公正な歴史認識の共有に向け、対外発信力を強化。
- ・ 領土・領海・領空を守り抜く体制を整備。
- ・ 米国はじめ、ロシアやインド、オーストラリア、台湾、東南アジア諸国などとの連携強化で「中国包囲網」を形成。
- ・ 北朝鮮による拉致問題の早期解決に全力を尽くす。etc.

これにより

日本の守りを盤石に！

幸福実現党
だから
できる！

自分の国は自分で守る

- ・ 憲法9条を改正し、防衛軍を組織。それまでの間は、憲法解釈の変更により「侵略国家は9条の適用対象外」とし、有事への備えを万全に。
- ・ 防衛予算の倍増で抑止力を抜本強化。原子力潜水艦や空母建造などに着手するほか、核抑止力の保有も検討。
- ・ 中国、北朝鮮などの人権状況を監視し、是正を求める。
- ・ 「戦勝国連合」である国連を改革。常任理事国入りを実現。etc.

これにより

**日本が国際社会で
リーダーシップを発揮！**



アベノミクスにより、景気回復の道筋が見えたのもつかの間、デフレ圧力をもたらす消費増税が実施されました。日本経済の未来を開くには、増税ではなく経済成長に向けた政策遂行が急務です。

日本はもっと 繁栄できる



人間の幸福は社会への貢献にある

- 成熟社会にあって低成長でよしとする考えもあるなか、幸福実現党は高い経済成長を目指します。それは、社会の発展、繁栄に貢献することによって、人間は幸福を感じると考えているからです。
- 人々がそれぞれの強みを発揮できるよう、新たな雇用創出に向けて企業家の輩出を奨励するとともに、大胆な規制緩和や減税などを通じて、個人や民間の自由な経済活動を促進。世界に向けて、国家の繁栄モデルを提示します。

まずは
ココから！

日本経済を成長軌道へ

- ・ 消費税率 8%への引き上げは誤り。10%への再引き上げは中止。5%への引き下げも検討。
- ・ 法人税率を 20%程度に大幅引き下げ。日本の立地競争力をUP。
- ・ 大胆な規制緩和で、あらゆる分野での自由な経済活動を促進。
- ・ 「原発ゼロ」は亡国の選択。国民生活や産業・雇用を守るために、安全性を向上させて原発推進。
- ・ TPP参加で、日本の国際競争力を強化するとともに、海外の成長力を日本に取り込む。etc.

これにより

**成長路線が確実に
収入UP、雇用も拡大！**

幸福実現党
だから
できる！

空前の日本大繁栄

- ・ 日本の新たな基幹産業となり得る分野に大胆投資。新産業を興し、雇用を創出。
- ・ リニア新幹線や高速道路網、航空交通網などの整備で、ヒト・モノ・カネの動きを活性化。
- ・ 将来的には消費税を廃止。所得税、法人税を低税率(10%程度)のフラット・タックス(一律課税)に。世界の富裕層や富の流入を促す。
- ・ 国家戦略として円の国際化を進め、基軸通貨化を目指す。etc.

これにより

日本はGDP世界一へ！

幸福実現党の政策

3 教育再生

学力低下や深刻化するいじめ、自虐史観による教育など、日本の学校現場はさまざまな課題を抱えています。教育は国家百年の計。国際競争力強化のためにも、教育再生に取り組まなくてはなりません。

未来を拓く 人材を育成する

教育は未来への種まき

- 教育による人づくりは国家の基礎です。学校教育に宗教的バックボーンを入れ、善悪の価値観、自助努力の精神、愛や寛容の心を教えます。また、どのような家庭環境であっても質の高い教育を受けられるよう、公教育の復権を図ります。
- 宗教教育により、志高い若者を育て、日本と世界の発展に貢献する企業家や国際人材を輩出します。さらに、塾の学校化なども検討し、教育の自由化によってユニークな人材や天才を生み出す土壌を作ります。

まずは
ココから！

“当り前の教育”の実践

- ・ 宗教教育により、神仏を敬う心や宗教的情操を育む。
- ・ 教員および教育内容の質を向上させ、塾に頼らない学校を実現し、家庭の教育費を軽減。
- ・ 「いじめ防止対策推進法」は、いじめを放置・隠ぺいするなどした教員や学校への罰則が設けられていないため見直し。教員にはいじめに真正面から取り組むことを義務化。
- ・ 道徳教育の充実により優れた人格を育み、いじめの発生を防止。
- ・ 自虐史観を排し、愛国心を育む歴史教育を実施。etc.

これにより

**子供たちが安心して
通える学校に！**

幸福実現党
だから
できる！

世界最高水準の教育を実現

- ・ 塾を学校として認めるなど、学校設立の自由化を図り、競争原理を導入。
- ・ 公立学校での飛び級の推進など、一人ひとりの才能を最大限に開花させる教育を実現。
- ・ 宗教教育の充実により、志高く、騎士道精神に満ちた若者を輩出。
- ・ 企業家や一級の国際人材の輩出に向けて、語学やハイレベルな教養を学ぶ機会を増やす。etc.

これにより

**世界をリードする
人材の輩出！**

幸福実現党の政策

4 社会保障

少子高齢化が急速に進むなか、このままでは年金制度が立ち行かなくなるのは火を見るより明らかです。また、膨張する医療費など、社会保障制度全般にわたる見直しは待ったなしです。



すべての世代が 輝くために

人生の基本は「自助努力の精神」

- 私たちは、人生の目的は「魂修行」にあり、魂の向上を目指すには、「自助努力の精神」が必要だと考えています。国への依存心を助長し、努力を放棄させかねない「過度の社会保障」は、人間の幸福にはつながりません。この観点から、幸福実現党は社会保障のあり方を抜本的に見直します。
- 「雇用の創造・確保」により、「生涯現役社会」を実現。家族の支え合いを支援する制度設計と併せ、自立的な生き方を促すことで、社会保障費を抑制します。もちろん、弱者救済のためのセーフティネットの整備は必要ですが、その際の原資は税金だけでなく、資産家の宗教的慈悲心に基づく慈善事業などで賄うべきだと考えます。

まずは
ココから！

経済成長を前提に 自立的な生き方を促す

- ・ 公的年金の支給開始年齢を段階的に引き上げ。
- ・ 成長に伴う雇用増加を前提に、高齢者の就業・起業を支援。
- ・ 生活保護受給者の自立を促すとともに、不正受給を防止。
- ・ 障害がある人が、幅広く社会参加できるよう支援。
- ・ 多世代同居を税制面で後押し。家族で支え合える環境を整備。etc.

これにより

社会保障費が抑制される！

幸福実現党
だから
できる！

社会保障制度の再構築

- ・ 働きたい人が働ける「75歳定年制社会」を構築。健康の維持・増進につながり、医療・介護費の抑制にも寄与。
- ・ 相続税、贈与税の廃止や遺留分制度^(注)の見直しによって、家族の結びつきを強め、老後の不安を取り除く。
- ・ 現行年金制度の維持が困難な場合には破綻処理。若い世代向けには、積立方式の新たな公的年金を検討。資金の乏しい高齢者には、確かなセーフティネットを整備。
- ・ 若者が結婚し、子供を生み育てやすい環境をつくるため、住宅、教育、保育所などの社会インフラを抜本的に整備。
- ・ 医療分野の自由化を進め、多様な医療サービスを実現。etc.

これにより

若者から高齢者まで 誰もが生きがいを持てる！

(注) 例えば、老後の面倒を見てくれた子供に全財産を相続させようとしても、民法の規定では、配偶者や他の子供たちにも財産の一定分を相続する権利がある。



無神論、唯物論の広がり、規範意識が揺らぐ戦後日本。東京裁判史観が他国の増長を招き、国益も損なわれています。世界に目を転ずれば、全体主義国家の横暴を抑止することが大きな課題となっています。

「宗教立国」と 「自由の大国」を 実現する

世界を幸福に導く「国のかたち」

- 国家運営の土台に、正しい世界観と人生観を教える宗教を置く「宗教立国」、個人の可能性を最大限に開花させ、国力を最大化する「自由の大国」。これこそが、新時代の「国のかたち」だと私たちは考えます。
- 幸福実現党はこの国に国家の気概を取り戻すと同時に、宗教的価値観を社会の基軸に据えた「自由の大国」日本を実現。新たな理想国家像を提示すると同時に、世界の課題解決に向け、主導的な役割を果たす国家へと新生させます。

幸福実現党
だから
できる！

世界の誰もが憧れる日本

- ・ 日本から自虐史観を完全払拭。
- ・ 国家のグランドデザインを描き、憲法を創り直す。
- ・ 大統領制の導入で、国のトップの強いリーダーシップを確立。
- ・ 「小さな政府、安い税金」を実現。無税国家を目指す。
- ・ 世界からヒト・モノ・カネ・情報が集まる、経済・金融・文化の中枢を形成。世界の繁栄の牽引役を担う。
- ・ 少子化対策と移民受け入れを進め、将来的には3億人国家を実現。
- ・ 人権弾圧を展開する無神論国家の体制を改めさせる方向で、外交を展開。
- ・ 真実の宗教観に立脚し、世界の宗教・宗派間の対立終結に向けて指導力を発揮。etc.

これにより

**リーダー国家・日本が
世界の平和と繁栄を実現！**